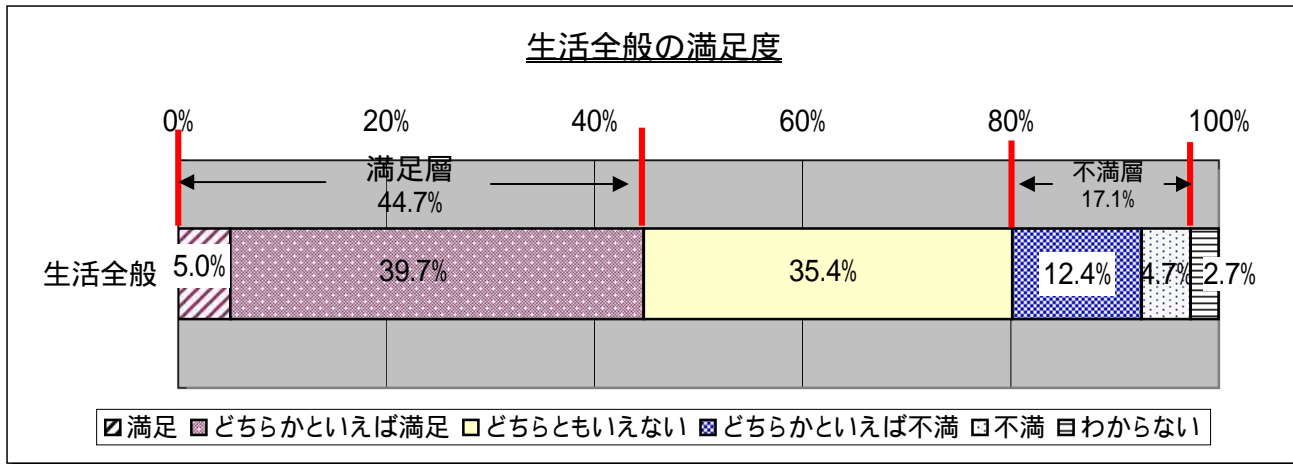


平成20年度 県民意識調査結果概要

1 県民生活の満足度

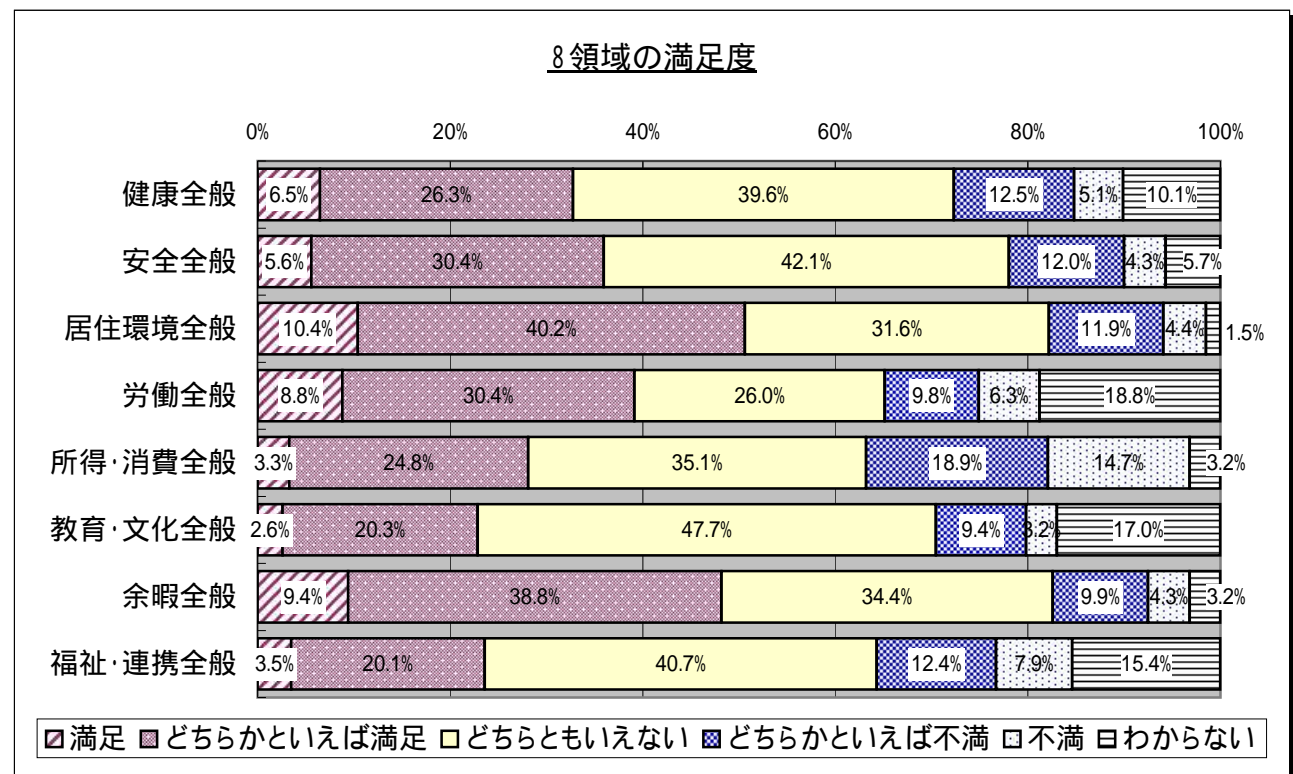
生活全般

・県民の4割超(44.7%)が満足層である。
・不満層は17.1%である。



領域全般

・8領域のうち7領域が満足傾向である。満足傾向(プラス値) = 満足層の比率 > 不満層の比率
・最も満足層の比率が高い領域項目は、「居住環境全般」(50.6%)である。
・不満傾向を示している領域項目は、「所得・消費全般」である。



個別項目(35項目)

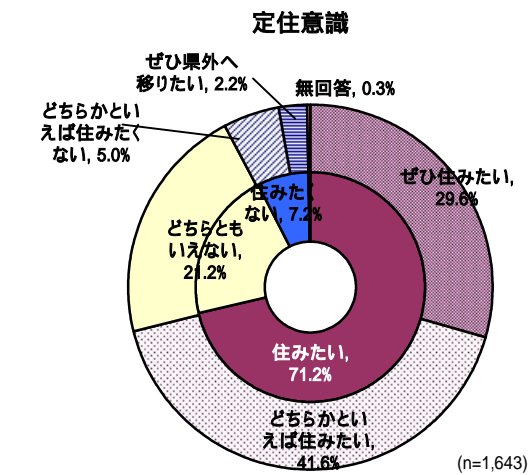
・最も満足層の比率が高い項目は、「住宅」(62.9%)であり、次いで「自然環境」、「自由時間」、「日常医療」の順となっている。この4項目が5割を超えている。
・最も不満層の比率が高い項目は、「物価」(87.1%)であり、次いで「公共交通機関」となっている。この2項目が5割を超えている。

2 主要な事項についての県民選好度(1)

＝ 県民の意識 ＝

定住意識

・7割を超える県民が「住みたい」意向である。



本県のよいところ(複数回答)

順位	選択項目(項目数13)	回答率
1	自然環境に恵まれている	90.6%
2	大気汚染や水質汚濁等が少ない	50.6%
3	東京に近くて便利	36.3%

本県のよくないところ(複数回答)

順位	選択項目(項目数14)	回答率
1	市街地に活気がない	55.3%
2	魅力ある雇用の場が少ない	48.3%
3	通勤・通学に不便	34.9%

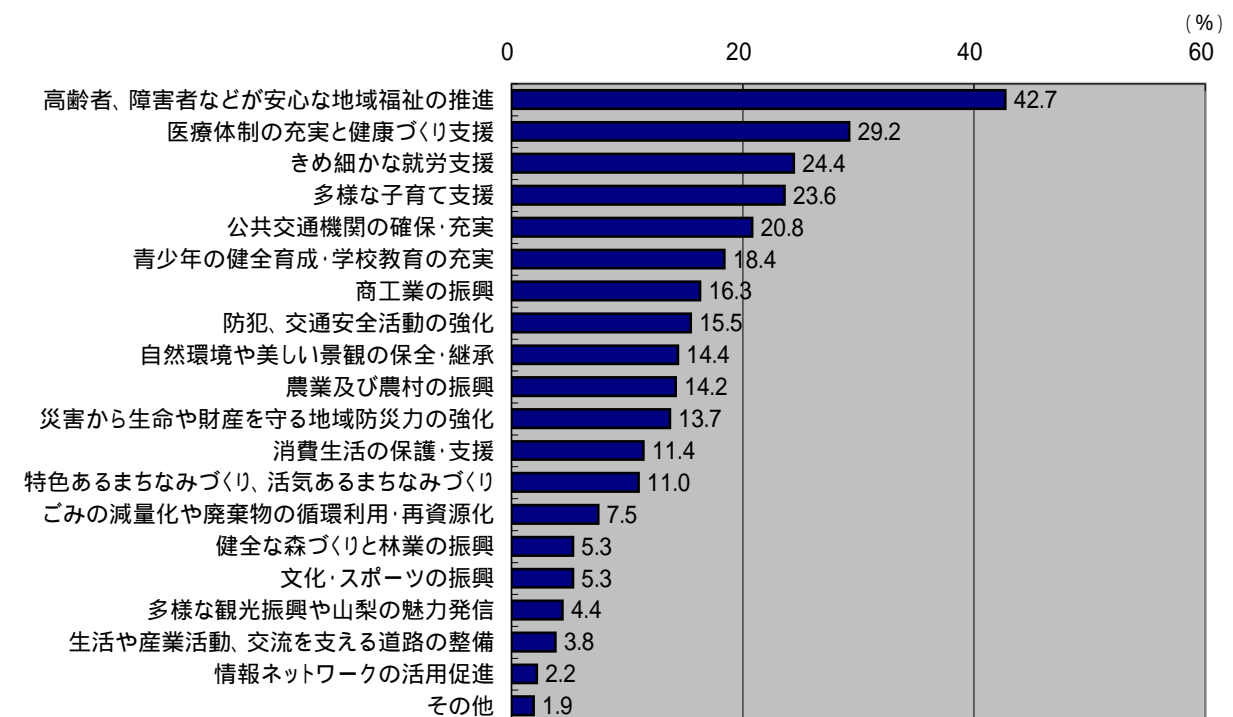
「豊かさ」イメージ(複数回答)

順位	選択項目(項目数12)	回答率
1	心身の健康	56.5%
2	時間的なゆとり	39.7%
3	快適な居住環境	37.4%

＝ 行政施策についての要望 ＝

最も力を入れてほしい行政施策(複数回答)

・「高齢者、障害者をはじめ誰もがいつまでも安心して生活できる地域福祉の推進」が最も高く4割を超え、次いで「適正な医療が安心して受けられる体制の充実、健康づくりの支援」に対する要望が高い。



＝ 公共施設整備の要望 ＝

公共施設整備への要望(複数回答)

順位	選択項目(項目数16)	回答率
1	高度医療施設(総合病院など)	36.4%
2	公共交通機関(バスや鉄道など)	35.8%
3	日常生活でよく利用する道路	34.8%

＝ 山梨県の将来像 ＝

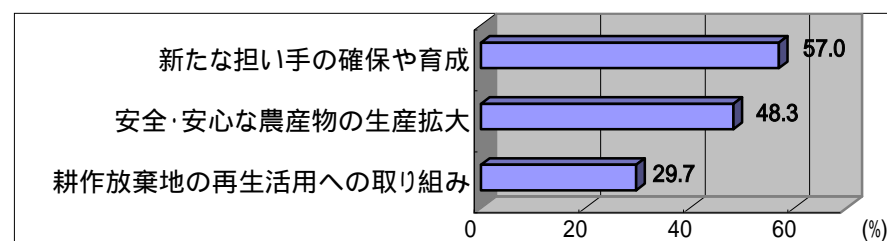
期待する山梨県の将来像(複数回答)

順位	選択項目(項目数17)	回答率
1	自然	71.6%
2	やすらぎ	45.2%
3	安全	38.6%

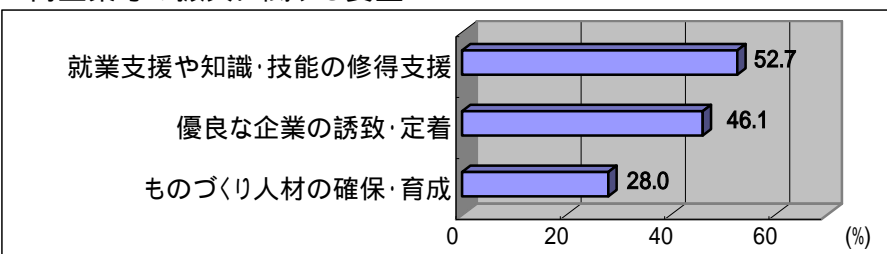
2 主要な事項についての県民選好度(2)

＝主要な課題・施策についての要望等＝ (複数回答) 上位3項目を記載

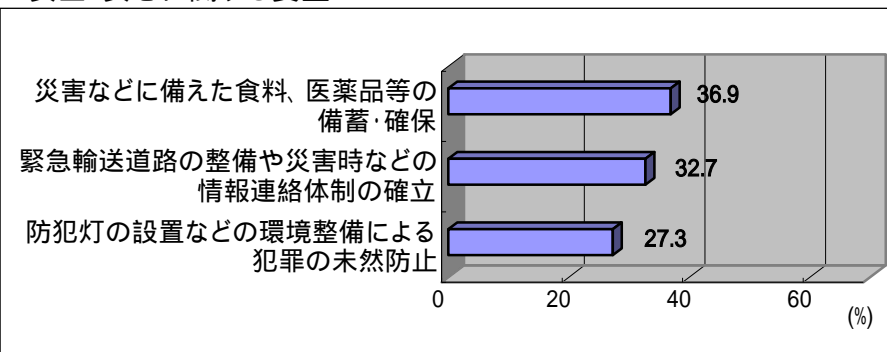
農業の振興に関する要望



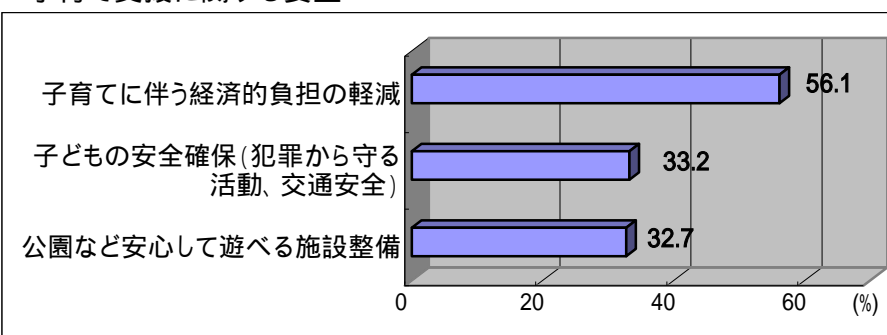
商工業等の振興に関する要望



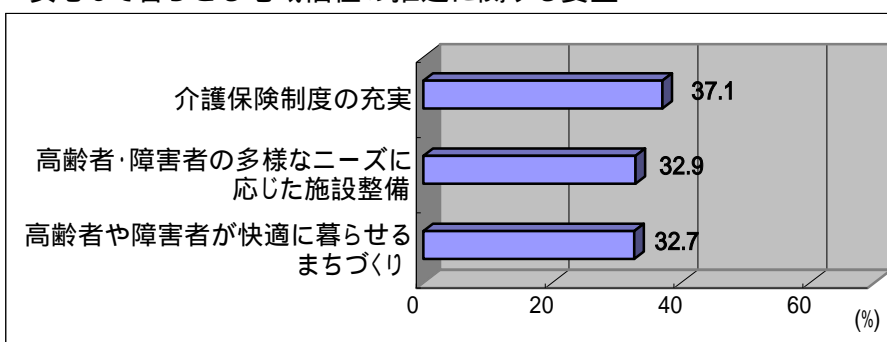
安全・安心に関する要望



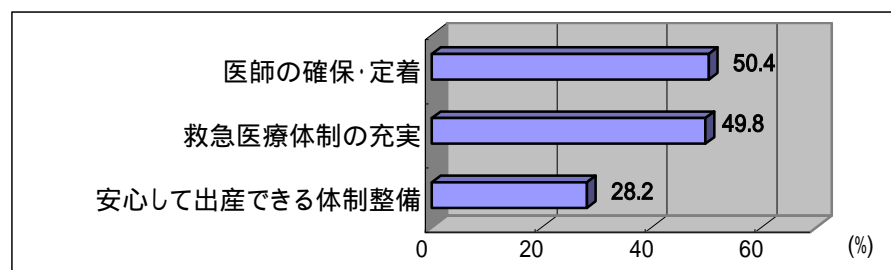
子育て支援に関する要望



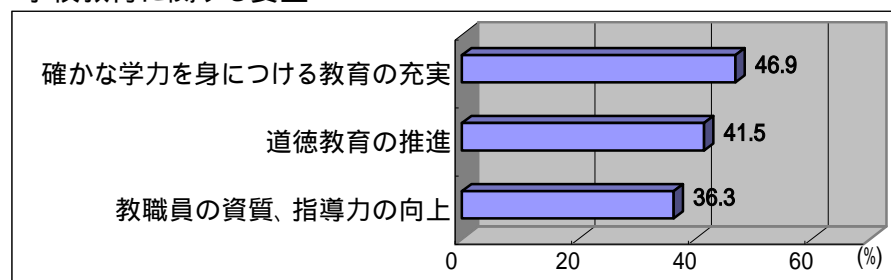
安心して暮らせる地域福祉の推進に関する要望



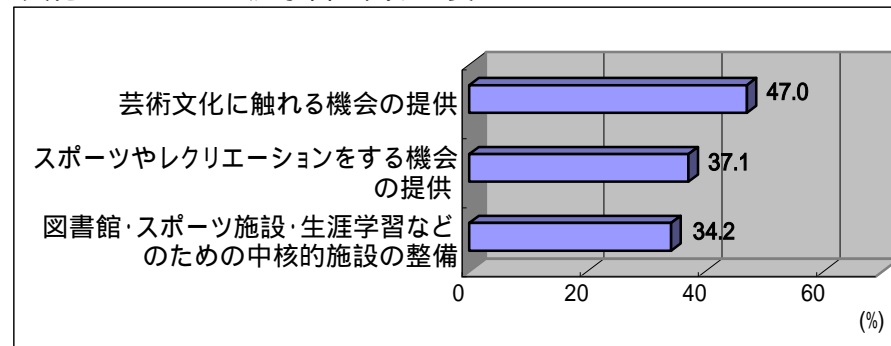
保健医療に関する要望



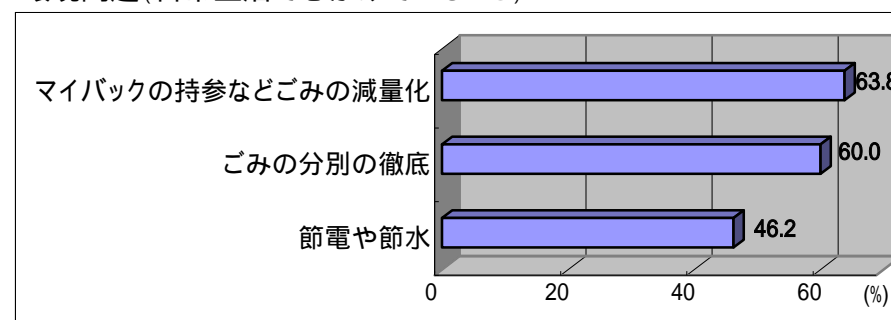
学校教育に関する要望



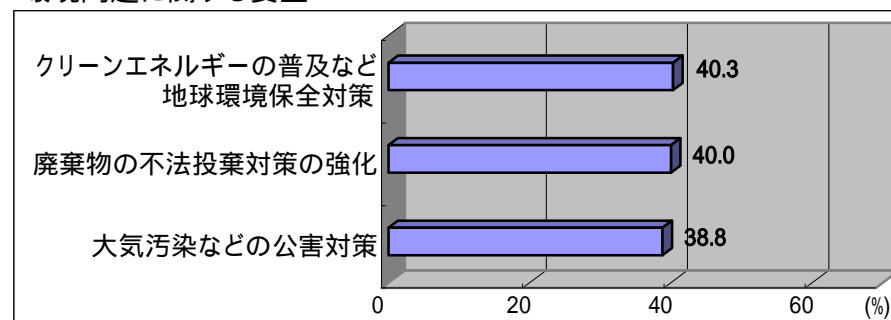
文化・スポーツ・生涯学習に関する要望



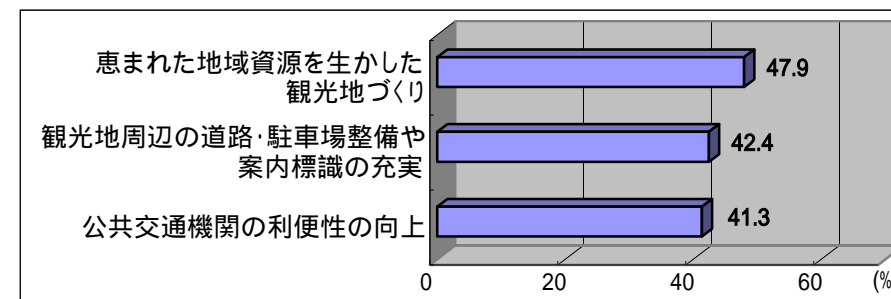
環境問題(日常生活で心がけていること)



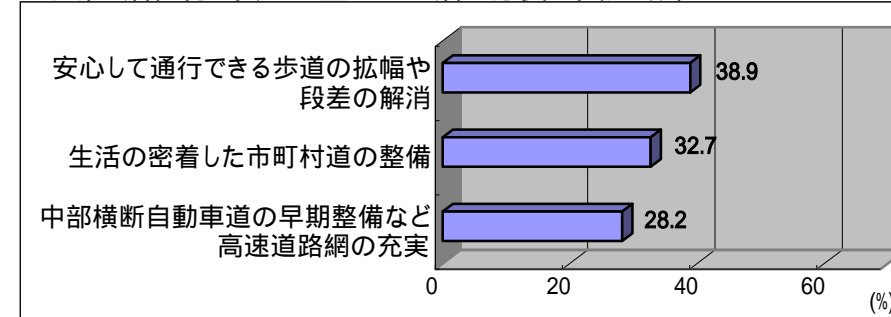
環境問題に関する要望



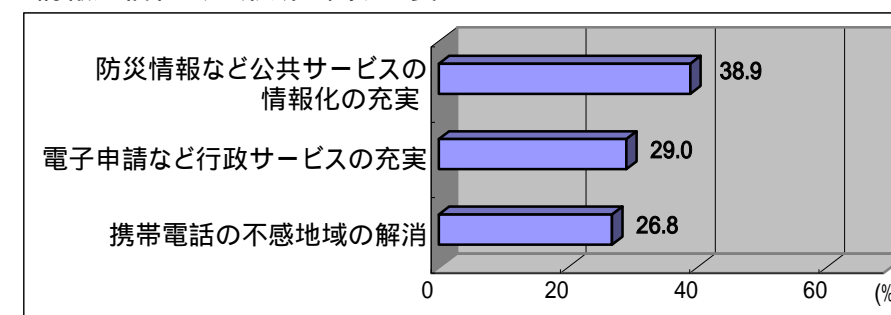
観光の振興を図るために必要なこと



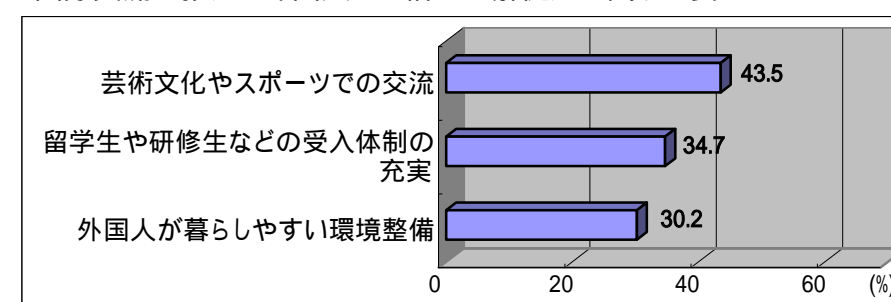
地域の活性化と安全で豊かな生活に必要な交通政策



情報通信社会の形成に関する要望



国際交流の推進と外国人との相互理解促進に関する要望



3 日常生活行動域

「軽いけがや病気の診療」、「日用品の購入」
 ⇒ 8割弱の人が居住自治体内で行動。
 「職場」⇒ 約6割の人が居住自治体内に職場をもっている。
 「重い病気の診療」、「耐久消費財の購入」、「ファッション性の高い衣料品等の購入」、「外食」
 ⇒ 概ね甲府市及びその周辺、富士・東部地域では富士吉田市が中心となっている。「衣料品等の購入」は県外への行動も見られる。
 「余暇」
 ⇒ 約6割の人が居住自治体内のスポーツ・文化施設、公園等を利用。